

知的障害高等特別支援学校における性教育の授業の展開 — 題材における目指す姿と授業のつながりに視点をあてて —

特別支援教育班 中村 和浩 (特別支援学校教諭)

主題設定の理由と研究のねらい

2次性徴を迎えた思春期の生徒



不安・とまどい



今 正に性教育が必要だ!

- ・自分自身の体や心の変化の理解
- ・相手を思いやる気持ち
- ・男女関係のあり方
- ・月経や射精のしくみ など

でも、どんな授業をすればいいのだろうか?

【目指す姿の想定】

- ・正しい知識や技能の獲得
- ・異性とのかわり方より良い変容

【授業のつながり】

- ・内容の関連や系統性
- ・生徒の言動を次時の導入で活かす
- ・生徒の感想や変容を次の授業の中心に据える

つながりを意識した授業の実践



スッキリ!!



実践の概要

指導計画(全6時間計画)

| 学習内容精選の観点 | 時間 | 題材名 |
|------------|----|-----------------|
| 自他の尊重 | 1 | 私が生まれたとき |
| | 1 | 大切な友だち |
| 正しい知識と理解 | 1 | 自分の体を知ろう |
| | 1 | 生理ってなに? 射精ってなに? |
| ルール、マナーの学習 | 1 | 性に関するマナーとルール |
| | 1 | 異性と接する際のマナーとルール |

授業のつながり(6時間中の題材1, 3, 4時間目を抜粋)

題材1「私が生まれたとき」

| 生徒の姿 | 次時へのつながり |
|---|---|
| 「全員が大切な存在」という言葉に、互いに照れつつも嬉しそうに顔を見合わせる生徒が多く見られた。 | 生徒の姿をとらえ、「その大切な存在である友だちとの関係を考えていこう」と伝えることで、次時の学習に意欲が持てるようにした。 |

題材3「自分の体を知ろう」

| 生徒の姿 | 次時へのつながり |
|--|--|
| 「今まではすね毛をむいっていました」と、安心した表情で話してくる生徒がいた。 | 身体の変化は恥ずかしいことではない、という意識がしっかりと生徒に伝わったため、次時に向けての前向きな雰囲気作りができた。 |

題材4「生理ってなに? 射精ってなに?」

| 生徒の姿 | 次時へのつながり |
|-------------------------------------|---|
| 「初めて知った」「ルールのことまでは知らなかったな」等の発言があった。 | 不用意にマスターベーションについて発言し、友だちから注意された生徒の姿を架空の出来事に仕立て、それを紹介しながら授業に入った。 |

成果と課題

・3つの観点を6時間の題材に分け、つながりを意識して授業を行ったことは、自他の性を肯定的に受け入れること、成長することを前向きにとらえること、今後の生活を豊かなものにしていくための知識や情報を効果的に得るために有効だった。

・生徒の様々な反応や発言が、授業の流れを効果的に変えたり、アクセントをつけたりした。それを教師が意識し、取り入れていくことで、授業を躍動感のある、生きているものにすることができ、生徒の意欲を引き出す上で、大変有効だった。

・今後は学習した内容が生徒たちにしっかりと身に付くよう、定期的に振り返りを行う必要がある。また、1学年で完結するのではなく、1年～3年までのつながりを考えた展開も必要である。さらに生徒によっては、性交、妊娠、避妊、感染症等のもう一歩踏み込んだ内容を取り入れた性教育も必要である。

